

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ハッピーキッズ				公表日 R8年 2月 6日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		指定基準以上のスペースがあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		人員基準以上の職員を配置しています。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	活動や課題に集中しやすいようにパーテーションなどで区切っています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃や消毒を行っています。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	個室はありませんが、必要に応じてパーテーションなどで区切り、クールダウン等できるようにしています。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		ミーティングや策定会議を月1回行っています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年1回の評価を踏まえて、職員間で共有し業務改善を行っています		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		月1回のミーティングで意見を出し合い、業務改善につなげています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	第三者委員会の設置はありませんが、運営コンサルタントに評価結果や日々の業務報告を行い、業務改善につながる助言を受けています。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		児童発達支援センター等が主催する研修に参加したり、事業所内でオンデマンドの研修を受けたりしています。		
支援プログラム	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページに公開しています。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		ご家族のご意向を踏まえたうえで日々の行動観察やご本人の意思を尊重した計画作成を心がけています。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		策定会議では職員全員が参加し、意見を出し合っています。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		策定会議で共有し、利用ごとに個別支援計画の振り返りも行っています。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		共通のストラテジーシートなどを活用しています。		

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		個別支援計画に設定したうえで、保育士がそれに基づいた支援を行ったり、設定活動を考案しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		月ごとに立案担当者を決め、児発管や他職員と相談しながらすすめています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		2週間～1か月ごとにプログラムを変更しています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		適宜、小集団または個別、同グループ内の事業所の児童と集団活動を組み合わせて支援しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	毎日、昼礼で打ち合わせています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	送迎業務後に終業時刻を迎ってしまうため、翌日に共有しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	記録をし、他職員が記録したものも確認するようにしています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		利用日毎に個別支援計画の目標の振り返りを行い、更新月でなくとも変更が必要となれば更新しています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		設定活動にて複数組み合わせた内容にしています。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		余暇活動の時間には自己決定しやすいように、玩具や遊具を興味関心に応じて複数準備しています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管OJT期間の者も同席するようにしています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて関係機関に情報共有を行っています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		保護者を通して下校時刻などは連絡をいただいているが、緊急の場合などは学校側から連絡があつたり、こちらから問い合わせしたりして連携しています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		サービス担当者会議などの機会で情報共有しています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	卒業を迎える児童はいないが、他施設へ移つたり、療育を終了する児童については、移行先へ情報共有できるように申し送りのための準備は常にしています。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	児童発達支援センター主催の研修に一部職員が参加しています。研修を受けられなかった職員には内容を共有するようにしています。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	4	地域の公園に出かけて交流の機会をもつようになっています。	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	適宜管理者が参加しています。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		お引き渡し時や面談などでお話して、共通理解を得ていると思います。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		面談、療育参観などを実施しています。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		児発管が保護者からの聞き取りをするだけでなく、行動観察から本人の意思を汲み取るよう心がけています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		児発管が説明を行い、必要に応じて修正するなどして対応しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		適宜、面談を実施しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3		父母の会の活動や保護者会等の交流する機会はないので検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		いただいた意見は記録し、全職員に周知、迅速に対応できるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		SNSや保護者向けアプリ・LINEなどで情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の入ったファイルなど管理徹底しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		文章のみの案内とならないよう、写真や絵、図など用いて配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		今後検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを設定し、周知徹底し、訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		計画策定しており、訓練、研修など実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		該当者はおりませんでした。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		該当者はおりませんでした。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		計画作成し、必要な訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		避難訓練時などに避難ルートや避難先を共有しました。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事案が発生した場合には、昼礼にて内容を共有し、再発防止について話しあっています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修を行うほか、通報の基準や手順などを確認しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		該当者はいないが、身体拘束適正化研修などを行っています。	